

蓬萊山山行

11 月 12 日 (水)

登山グループ 坪内洋子

当初計画の大日ヶ岳 (1708.8m) は熊出没情報により蓬萊山 (1173.8m) へ変更。ロープウェイで上がり、小女郎峠から権現山を経て霊仙山口へ下る予定であったが、ロープウェイの点検運休のため、霊仙山口から権現山 (996m) 経由で小女郎ヶ池を目指すピストン山行に変更しての実施。

新会員 2 名を含む 26 名で帷子地区センターを 6 時に出発し、9 時 30 分に霊仙山口へ到着。イロハカエデやブナの紅葉の美しさに感激しながら歩を進める。権現山を過ぎたあたりで蓬萊山を眺め、足元に一輪だけ咲くイワカガミを確認。その時点で小女郎ヶ池まで行く時間的余裕はないと判断し、11 時 50 分に権現山頂上へ戻り、琵琶湖の絶景を楽しみながら昼食。



権現山山頂での昼食タイム

14 時に霊仙山口へ下山、帰路に道の駅へ立ち寄り、18 時に帰着した。

土田小学校 鳩吹山講座

11 月 15 日 (土)

地域支援グループ 柿元章吾

この日は、小学校全校の授業参観日。当日は PTA やボランティアによる芋煮 700 食のふるまいがあった。

3 年生の授業として、地域支援グループリーダーの岩瀬さんによる「鳩吹山のお話」と題した講話が、土田地区センターで行われた。後日の鳩吹山登山に向けた事前学習で、動画を含む資料をスライド投影する本格的な内容。参観した学校評議員も感心しきり。

授業後には子供たちによる元気な合唱も披露され、充実した意義ある地域支援のひとつとなった。



土田地区センターの視聴覚室で行われた鳩吹山講座の様子



6 個の防災用大鍋で作る芋煮



保護者とボランティアに合唱のプレゼント

もみじ祭りに協力

11 月 29 日 (土)・30 日 (日)

顧問 吉田博行



盛況のしおり作りコーナー

今年で 12 回を数える「もみじ祭り」に、当会も押し花を使ったしおり作りのワークショップで協力。二日間とも風のない穏やかな小春日和となり、大勢の市民の来場を予想して気合を入れて臨む。しかし、他会場でもイベントが重なったためか人の流れが分散し、参加者は初日 116 名、二日目 150 名と意外に少なめ。二日目は女性スタッフ 2 名が体調不良で欠員となり案じられたが、残るスタッフの頑張りで無事に終了。協力いただいた 18 名のスタッフに改めて感謝したい。

一斉パトロール&環境保全

11 月 20 日 (木)

保全パトロールグループ 高島勝

当日の朝は少し肌寒かったものの天候に恵まれ、総勢 17 名で活動。今回は市職員 1 名に加え、ボランティア体験として帷子小の先生 1 名も参加。

環境保全活動として「カタクリ 20」前後の登山道補修に着手。主に階段部分の整備のため、木材を担ぎ上げ、ツルハシで土を掘り、重いハンマーで鉄ピンを打ち込む重作業。

その後、鳩吹山山頂までパトロールを実施。当会が掲げる「安全登山・楽しい登山」に寄与できたと思う。



登山道補修に精を出す会員

土田小学校 鳩吹山登山支援

11月28日(金)

地域支援グループ 岩瀬雄一

恒例となっている土田小学校3年生の登山支援を実施。本年は登山の前に、11月15日の授業参観日にて「鳩吹山のお話」と題した講話を行い、山の自然や過去の火災、登山のルールなどを事前学習。児童たちの期待も高まる中での当日。児童78名、保護者11名、引率教員5名に当会スタッフ16名が同行。

大脇登山口から山座川、マンガン鉱跡など、事前学習で触れた場所を通るたびに興味深く話し合う児童たちの姿。つづら折りの登りも遅れる子はなく、予定より早く小天神に到着。校庭に向けて「ヤッホー」と大きな声を響かせる。頂上直下の岩場も慎重かつ楽しげに踏破。



小天神から小学校校庭と交信

頂上では名古屋駅前の高層ビル群を見つけて歓声を上げ、先生や友人と記念撮影を楽しむ笑顔。

下りも順調に会話を楽しみ、一人も体調を崩すことなく大脇公民館へ帰着。午後の授業で書かれる感想文が楽しみだ。



山頂からの風景を楽しむ児童たち

12月植物観察会

12月6日(土)

自然保護グループ 中島平八

早朝の気温は-2℃で、9時になってもさすがにまだ寒かった。あぜ道コースで陰になっているところでは、枯草の上に霜が降りているのが見られた。日が当たる場所では、霜が溶け

てキラキラと輝いていた。こんなに寒いのに野草は咲いているのかと半信半疑で歩を進めていると、咲いてるではないか。ヒメムカシヨモギ、ノジスミレ、ノボロギク、中でもサクラタデが一番可愛くてきれいだった。

城山コースでは、珍しい植物に逢った。アキザキヤツシロランだ。花は終わっていたが、白いツクシのような実が観察できた。

大脇にある橋の上からは、つる植物のビナンカズラ(別名サネカズラ)が観察できた。今年も真っ赤な実をつけていた。



左：ほんのりとした桜色で美しいサクラタデ
右：竹林に出るというアキザキヤツシロランの実

鳩吹山清掃登山

12月10日(水)

登山グループ 伊藤芳子



山頂での来年度の山行計画等の討議風景

カタクリルートと西山登山口ルートの手に分かれ、9時に鳩吹山頂上を目指して登山開始。参加者は計28名。晴天のもと、冠雪した山並みもくっきり。カタクリ駐車場からの道中で回収したゴミは新聞紙1枚のみ。両グループで隅々まで探してもゴミは殆ど見当たらず。連日多数の登山者が訪れな

がらもこの景観が守られていることは、他山に誇れる点。頂上では来年度の山行計画案を全員で検討。お茶やお菓子を囲み、Oさんのハーモニカ演奏に耳を傾けての団らん。

また、新導入のトランシーバーの操作説明もあり、今後の活動での活躍に期待。11時に現地解散し、その後は自由行動となった。

FCV 鳩吹山登山支援

12月13日(土)

地域支援グループ 柿元章吾

児童および保護者39名に対し、当会より10名が支援。雲の多い空模様ながら晴れ間にも恵まれ、良好な登山日和。3グループに分かれ、保護者は後方から見守る体制で行動。参加児童は低学年から高学年まで幅広く、日頃からスポーツに親しんでいるためか歩行ペースが速く体力も十分。小天神での一度の休憩のみで順調に登り、山頂直下の岩場も軽快に踏破。予定より30分早く山頂に到着。

昼食後は広場を元気に走り回る子どもたちの姿。予定を切り上げて早めの下山を開始するも、終始子ども同士で声を掛け合う和やかな雰囲気。冬の明るい森の中、充実した支援活動であった。



山頂で記念写真

これからの活動予定一覧

【保全パトロール G 高島 勝 中村睦子】

- 保全活動
 - ・2月19日(木): 山座川清掃
カタクリP / 9時集合
 - ・3月19日(木)
真禅寺P / 9時集合

【登山 G 千賀徳子】

- 寧比普岳(ねびそだけ / 愛知県豊田市)
 - ・2月11日(水)
帷子地区センターP / 6時半集合
- 夏焼城ヶ山(なつやけじょうがさん / 愛知県豊田市)
 - ・3月11日(水)
帷子地区センターP / 6時半集合

【自然保護 G 水野可律子】

- 植物観察会 カタクリP / 9時集合
 - ・2月7日(土)・3月7日(土)

【事務局】

- 連絡会 土田地区センター / 9時半集合
 - ・2月5日(木)・3月5日(木)
- 会報発送 福祉センター / 9時半集合
 - ・3月24日(火)

【鳩吹山ともの会 連絡先】

Phone: (西川)

e-mail: